

食品ニューテクノロジー研究会 2019年10月例会

ヒトの大敵・炎症性疾患に有効な食品成分はあるか？

日時 : 2019年10月9日 (水) 13時30分～

会場 : アットビジネスセンター東京駅八重洲通 604 <中央区八丁堀1-9-8>

参加費 : ￥15,000(税別) 食品ニューテクノロジー研究会 会員無料

【座長：】 東京栄養食糧専門学校 理事 (兵庫県立大学名誉教授) 辻 啓介氏

炎症は、やけどや怪我、生体に浸入した生物、薬物、あるいは物理的な障害に対して、発熱、発赤、腫脹、痛み、機能性の喪失などによって体を防御する必要な反応です。しかし、過剰に反応すると、体を傷つけることとなります。肝臓や胃などの組織が炎症を起こすと、それぞれ「肝炎、胃炎など」と呼ばれます。炎症性疾患は数多くあります。その中には自分の組織を攻撃する自己炎症疾患や、潰瘍性大腸炎のような原因のわからない非特異性炎症もあります。また、生活習慣病には炎症を伴うものが多く、動脈硬化、Ⅱ型糖尿病などもその好例です。食生活が炎症の発症や治癒に関与していることは次第に明らかになってきましたが、その解明や食事療法はまだ確立していないものがほとんどです。今回は、炎症に多方面で有効とされるオメガ3脂肪酸の質的バランスの問題と、炎症性腸疾患の画期的な治療法の開発を通じて、炎症に有効な食事成分について、お話しいただきます。皆さまのご参加をおまちしております。

【講演Ⅰ】 13:40～14:50

オメガ3脂肪酸のリポクオリティと抗炎症性疾患との関連

慶應義塾大学 薬学部・薬学研究科

代謝生理化学講座 教授 有田 誠氏

理化学研究所 生命医科学研究センター

横浜市立大学大学院 生命医科学研究科

<http://www.pha.keio.ac.jp/research/pcm/index.html>

【講演Ⅱ】 15:00～16:10

炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)の最新の食事療法

市立秋田総合病院 消化器内科

炎症性大腸炎 主任医師(博士)千葉満郎氏

<https://www.atpress.ne.jp/news/15393>

<https://dx.doi.org/10.21037/tp.2018.12.02>

【座長まとめ】 16:10～16:30

お問い合わせ先:

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 中山清美
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階
TEL03-3537-1310 FAX03-3537-1071

ヒトの大敵・炎症性疾患に有効な食品成分はあるか？

食品ニューテクノロジー研究会 10月9日申込書

FAXで 03-3537-1071までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行しておりません。
- ◇ 当日は名刺をお持ちください。

会社名	
住所	〒
電話	
FAX	
お名前	部署／お役職

会場案内

アットビジネスセンター
東京駅八重洲通 604

〒104-0032

東京都中央区八丁堀1-9-8

八重洲通ハタビル6階 604

■JR東京駅(八重洲口)より徒歩約10分

■日比谷線 八丁堀駅(A5出口)より徒歩2分



https://abc-kaigishitsu.com/tokyo_yaesudori/access.html

◎ セミナー情報 <http://bit.ly/Ke3If3>

◎ セミナー申込 <http://bit.ly/1cSZRck>

11月19日(火) 13:30 ~ アキバプラザ

『食の安全性を支える最前線(最新テクノロジー)』

座長 : (財)機能水研究振興財団 理事長 堀田国元氏

講師 : 食糧学院 ベターエイジング所長 理学博士 岡部敬一郎氏

食の安全と安心を科学する会 理事長 山崎毅氏

(株)デルモンテ 本間茂氏